



こんにちは

横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

岩崎ひろし

岩崎ひろし事務所
2011. 11. 23号

<日本共産党戸塚区事務所>

横浜市戸塚区上倉田町509-1

TEL865-0074 FAX865-0594

E-Mail:mail@iwasaki-hiroshi.jp

http://www.iwasaki-hiroshi.jp/

自民・民主・みんなの党が海外視察

公費で物見遊山はもつてのほか、必要なら政調費で

横浜市議会の自民10人、民主5人、みんなの党1人の議員計16人が11月5日から19日まで、海外視察に出掛けました。費用は、1人120万円を上限としています。

当初、公明党5名を含む23人が参加予定でしたが、中尾智一市議(当時・民主)の逮捕や「諸般の事情」などを理由に7人が参加を辞退しました。

5大陸をめぐる観光旅行?

まず、ドイツのフランクフルトで、全員で現地の市議と「親善サッカー」。しかし、この「親善サッカー」は横浜市議会として決定したものではありません。

その後3班に分かれて、南アフリカ、ブラジ

ル、アメリカ、フランス、シンガポールなど合計8か国を訪問予定でした。

市民から批判の声

この海外視察に対して、市民から「放射能への対応が急がれるいま、大人数で



フランクフルトのゲーテハウス
(「ドイツ観光の国」HPより)

お金をかけていくべきではない」「そんなお金があるなら放射線量測定機を買って」など、抗議が殺到。11月9日までに市会事務局には73件の意見が寄せられ、

同局担当は「議会事務局にこんなに意見がよせられるのは初めて」と話しています。

ツイッターでも、議論続出。「国民目線になってほしい」という意見に対して、自民党の斉藤達也議員は「今回の視察はだれに何と言われようと言わせていただきます」と強気の返信です。

日本共産党のみが反対

議会では、9月20日に「議員派遣」として採決が行われ、反対したのは日本共産党の5人のみで、他の議員は全員賛成しました。

日本共産党の大貫憲夫団長は「公費で物見遊山はもつてのほかです。辞退した議員のキャンセル料も市費負担です。市政のために視察が必要なら、月55万円支給されている政務調査費をあてるべきです」と指摘しています。

海外視察の議員派遣一覧表(案)

目的	場所		期間	派遣議員
A	フランクフルト市(ドイツ) アクラ市(ガーナ)	ヨハネスブルグ市(南アフリカ)	11月5日 ~19日	斉藤達也(自)
		サンパウロ市		坂井 太(自)
B	フランクフルト市、フライブルク市(ドイツ) ベルン市(スイス) パリ市(フランス) シンガポール	リオデジャネイロ市(ブラジル)	11月5日 ~15日	古川直季(自)
		ニューヨーク市(アメリカ)		横山正人(自)
				大桑正貴(み)
				石渡由紀夫(民)
				川口珠江(民)
				小粥康弘(民)
				中山大輔(民)
				谷田部孝一(民)
				黒川 勝(自)
				酒井 誠(自)
				渋谷 健(自)
				関 勝則(自)
				山下正人(自)
				渡邊忠則(自)

目的A: 今後の横浜市政の発展に寄与するため、海外各都市を訪問し、パートナー都市提携を予定しているフランクフルト市議会との交流を図るなど、国際交流を促進するとともに、国際会議誘致施策、集客都市施策、文化芸術施策等に関する調査を行うため視察を実施する。

目的B: 本市の自然エネルギー(太陽光発電他)政策をはじめとした環境施策及びMICEの推進に寄与すべく先進諸都市の事例を調査し、あわせて国際交流を促進すること。

(横浜市会事務局提出資料を転写)